

◆◆◆手動◆◆◆

- 休日にときどき行く昔ながらの銭湯があります。
今どきの「スーパー銭湯」と違い、多種多様な湯もなければサウナ、ジャグジーもない。
洗い場にシャンプー、石鹸すらありません。
狭い脱衣所の奥に「あつ湯」「ぬる湯」の二つの湯舟のみ。
でも私はここの「あつ湯」が大好きで定期的に通っています。



- はじめてここに足をふみ入れた時のこと。
さあ、温まろうとしていたその時、「ちゃんと閉めんか！！」と大声で怒鳴られました。
ふりかえると引き戸がちゃんと閉まっていない。
慌てて閉めて小さくなって湯につかりました。扉には手書きで、
「手動です。ゆっくりと、最後までお閉めください」としっかり書かれていました…。
- これまで入っていた「スーパー銭湯」は自動扉。
銭湯に限らず街の施設の扉はたいてい自動なものですから、最後まで手で閉める、
という意識、習慣がなくなっていたのでしょう。
それにしてもこの年になって怒鳴られることなどないのでびっくりしたのですが
改めて見渡すと先輩方ばかり。なんだか若者に戻った気分です。
次からは私もちゃんと最後までゆっくり念を入れて閉めてから入るようになりました。

- それからもこの銭湯に何度も通っているのですが、私のように最後までちゃんと
閉めずに入ってくる若者が先輩方から怒鳴られている場面を何度か目撃。
私もすっかり先輩気取りで自分のことはさておき
「おいおい」と思うようになりました。ただ。
先輩方が偉いなあと思うのは怒鳴って終わり、ではないところ。
その後そんなに広くない湯船につかって怒鳴った若者と
時には笑いながらいろんな話をされています。
「水に流す」でなく「湯に流す」、というところでしょうか。
先輩も若者も、どちらもすてきです。



- すっかり便利になった私たちの生活。
ますます便利になっていく中で、この銭湯の扉が「自動」になる日が来るのでしょうか。
明治の時代から営業しているこの古い銭湯がいつまで私たちを癒してくれるでしょう。
「手動」の銭湯。ここには時代がすすみ、どんなに便利、快適になっても
大事にしなければならないものごとがつまっている気がします。
もし今度、扉をちゃんと閉めない方がおられたら。
もちろん怒鳴りはしませんが私も少しばかり勇気を出して、
「手動ですよ。最後まで閉めましょう」と声をかけてみようと思います。